

2019
初春号
No.77

ほ な み

穂 濤

For WASEDA University Old Boys & Girls

発行所
早稲田大学藤沢稲門会

発行人 内 田 進
穂 濤 編 集 委 員 会



素晴らしいハーモニーでスタート

内田進会長は「藤稲会のサークル活動の充実が素晴らしい、毎年新しい会が生まれている」と力強く挨拶。長瀬輝行元会長の励まし今年も20名の新たな入会者があり、出席した3名により新会員挨拶。学生時代・職歴・入会後の抱負・会への期待等、話のうまさにも全員注目して傾聴し、一同拍手で大歓迎。

会は楽しく歯切れよく進行し、いよいよメインイベントの大抽選大会。司会はベテランの洞江良幹事。昨年度までのビンゴをくじ引方式に変更し内容はさらに発展。今年から参加者の提供賞品だけではなく会として目玉を用意することにしたが、一等賞を何にするかで担当幹事大論争。目立つようにテレビや自転車はどうか等々……。

内田進会長は「藤稲会のサークル活動の充実が素晴らしい、毎年新しい会が生まれている」と力強く挨拶。長瀬輝行元会長の励まし今年も20名の新たな入会者があり、出席した3名により新会員挨拶。学生時代・職歴・入会後の抱負・会への期待等、話のうまさにも全員注目して傾聴し、一同拍手で大歓迎。

2018年忘年会

晴天に恵まれた12月1日（土）藤沢市民会館にて84名の会員が参加し、恒例の忘年会が盛大に開催された。司会は杉下由輝幹事と若手女性会員のフレッシュコンビ。

オープニングは「藤稲歌う会」男女14名による4重唱で、「おぼろ月夜」「われは海の子」「もみじ」など四季折々郷愁溢れる日本の名歌をメドレーで8曲披露。女性会員の力強いリードを低音で必死に盛り上げる男性会員。これぞ音楽サークルの鑑と、拍手喝さい。

歌う会の素晴らしいハーモニーで開演！
くじ引大抽選大会大いに盛り上がる！



ハズキルーペのCMを熱演した

結局、現在もらって一番うれしいのは、目に優しいハズキルーペということに落ち着く。

抽選に先立ちおなじみのテレビコマーシャルの寸劇を幹事が披露。美男美女による堂々の熱演が大受けし拍手喝采。そして当選したK氏の「かみさんが欲しがっていた」の弁には泣かされた。来年度の賞品はたして何に、期待が膨らむ。

最後は有賀正義会員のしなやかなリードで「都の西北」を高らかに歌う。笹井修一行事企画運営委員長の「元気で楽しく長生きしましょう」の挨拶があり、今年の忘

年頭に当たって

会長 内田 進



新年おめでとうございます。今年も宜しく願い申し上げます。昨年会長に就任し、会員増強と共に同好会など会の活性化を重点課題として取り組んで参りました。残念ながら地引き綱、BBQは会員の高齢化もあり、参加者の固定化、人数の頭打ちが否めません。定年延長や介護の問題等により会員勧誘や会の諸活動に制約が残る状況は今後も変わりません。

一方、昨年の新会員は20人を数え会員数は450人を超えておりますが、特筆すべき点は新会員の半数が平成卒ということです。今後は若手幹事や女性幹事中心に若手や女性に参加しやすい新企画を鋭意推進して参ります。更に同好会を含め、高齢者も現役世代も参加しやすい行事や諸活動を増やし、会の活性化を図る所存です。

来年は藤沢で県支部大会が開催されます。これを踏まえ鎌倉・茅ヶ崎など近隣稲門会との連携強化を進め、更なる飛躍を目指します。改元となる新たな年、皆様の益々のご健康を祈念すると共に稲門会活動への一層のご協力をお願い申し上げます。



有賀会員の指揮で校歌斉唱

年会はお開きとなった。
(中野正一 記/写真 高野尚志)

茅ヶ崎稲門会主幹で県支部大会を開催

神奈川県支部大会

11月3日(土)に寒川神社参集殿にて県下14の稲門会・大学関係者約320名が集い開催された。藤沢稲門会からは内田進会長以下24名が参加した。

連本敏茅ヶ崎稲門会会長の歓迎の言葉に続き、来賓の鎌田薫総長から挨拶があった。大胆な長期計画の策定、グローバル化を進めている。海外の格付け会社から国内私立大学で4年連続1位の評価との説明があった。鎌田総長は翌日の4日に任期終了となるが早稲田スポーツの思い出も披露された。



総長を囲む参加者一同

1600年前の古文書に記載があり平安時代では相模国唯一の女神大社で由緒ある八方除けの神社である。

参拝後皆参集殿に戻り懇親会がスタート。歓談の中、湘南らしく茅ヶ崎市在住の小川美穂子氏が主宰し、ハワイの大会でも入賞する等の実績を持つフラダンスの披露があった。男性の力強いダンスも披露され皆の目を引いた。又、明日で任期終了の鎌田総長にサブライズとしてアロハシャツが贈呈され、総長もそれを着て皆の喝采を浴びた。

茅ヶ崎は砂と松の街と云われ何もないところが幸いし、独自の文化が誕生したのではと述べていた。県支部大会は無事終了し、参加者全員が寒川神社に移り参拝した。

最後は応援団、チアガールのリードで紺碧の空・校歌を皆で歌い、盛況のなか終了した。(舛岡 健記/写真 高野尚志)

穂 瀧

続き、茅ヶ崎市出身の有名人の桑田佳祐氏の小・中学校の同級生で、サザンオールスターズの名付け親で知られる昭54法卒の宮治淳一氏から「土地のパワーと音楽・芸能」と題した特別講演があった。



フラダンスが会場を盛り上げた!

野火止用水&平林寺ハイキング

ハイキング

11月22日、総勢12名、ひねもす曇天の中ではあったが、満足できる1日を過ごしました。

便利になったもので、藤沢から池袋まで直行です。更に西武電車・バスを乗継ぎ西堀で下車。ハイキングは途絶えることのない水量豊かな清流が、延々と平林寺まで続いている野火止用水沿いから始まった。道は一人が歩けるほどの幅であり、枯葉が一面に落ちていた。道以外の景色は、武蔵

野を感じさせる森、大年輪の桜を中心とした大木並木。農家や近隣の住民が植えたであろう花々や柿などの果樹、野菜畑。これらの景色に共通しているのは、行き届いた手入れからくる清潔感である。落葉を汚らしく感じなかった。不思議だった。

野火止用水は、家康の側近で川越城主の松平伊豆守源信綱が造ったもので、平林寺はその菩提寺です。紅葉の名所でもある平林寺では写真撮影や散策時間がたっぷりとり、史跡建造物の解説書を見

遠藤笹窪谷戸から寶泉寺・旧村を訪ねる

第27回藤稲史跡巡りの会

昭和30年4月、旧小出村は藤沢市と茅ヶ崎市に分割され遠藤だけが藤沢市に合併した。

遠藤という村名は平安時代に遠藤武者盛遠(後の文覚上人)の采地であったことに由来する。

以降、大庭氏、扇谷上杉氏、小田原北条氏に仕えた仙波氏、徳川氏の領と代わったが、永正15年(1519)に仙波土佐守によって創建された寶泉寺は、開山如幻宗悟が曹洞宗の名僧であり総本山能登総持寺の24輪番寺のひとつとなっていたので、



慶應義塾大学SFCにて

ながら境内を巡ることができた。帰路、有志は今日の満足感への興奮を冷まし、振り返るべく酒処へと足を運んでいった。

平野茂樹(パートナー会員)



紅葉の名所・平林寺にて

御嶽神社は遠藤の鎮守社。階段を登って振り向くと正面に富士山が見えた。神社の裏手に「茶来末」というお茶屋さんがあって一休み。この店は世界緑茶コンテストで最高金賞受賞の常連で、参加した多くの人がお茶を購入した。

遠藤武者盛遠の塚は民家の庭の中にあり、背丈ほどの祠の中に、五輪塔と宝篋印塔があった。11月16日は快晴の素晴らしい天候に恵まれて18名が参加した。慶應義塾大学SFC内のメタセコイアだけが美しく紅葉していた。

山正樹(昭和39・商学)

穂 漣

好ゲーム続出して紅組優勝!

秋の稲門テニス大会は、10月8日の体育の日、爽やかな秋の朝、9時から、善行テニスコートで開催されました。

主催者の激励の挨拶と入念な準備体操の後、ゲーム開始。参加者は男子17人、女子3人、総勢20人の盛況で、紅白対抗の4ゲーム先取のダブルス戦で行いました。各参加者はパートナーを替えながら、全4試合を戦いました。日頃の練習の腕前を各人十分に発揮し、好ゲームが続出です。



総勢20名で大会を開催

藤稲テニス

サーブ・レシーブ・ボレー・スマッシュ! 今、世界で大活躍中の錦織圭選手、大坂なおみ選手にも負けない位の素晴らしいパフォーマンス!

試合の合間に浅見夫妻差し入れの手作りドーナツと幹事さんに用意して頂いた豪華な弁当を美味しく頂き、怪我も無く、全日程を終了しました。結果として、獲得ゲーム数で紅組が優勝しました。最後に、各自素敵な賞品をいただき、来年の大会への参加を心に誓い解散しました。

高橋徹(昭和56・法学)

秋の二泊撮影会『紅葉の長野へ』

藤稲フォトクラブ

10月15日、佐久平駅からレンタカーで八千穂に直行。メルヘン街道沿いに白樺林・自然園・白駒池から麦草峠を経て奥蓼科の乙女滝、東山魁夷の絵で知られる御射鹿池を廻り、各所で紅葉などを撮影。

その後、諏訪ICから長野ICまで高速道を走り、長野駅前まで宿。翌日午前は志賀高原巡り。静寂な琵琶池・木戸池や勇壮な平床大噴泉など、深まる秋の絶景と遭遇。昼食後、笠ヶ岳経由で高山村に



ハートの鐘を中心に!

入り、松川渓谷の轟音響く雷滝(裏見の滝)をごく間近から撮影。長野から新幹線で帰る前、善光寺に参拝し、参道でお土産を調達。2日間にわたり、正に見頃の紅葉と共に、池や滝、白樺林、噴泉などをじっくり撮影。それぞれの被写体に様々な趣きがあり、意外と空いていたこともあって、バライティに富んだ数多くの撮影スポットをフラインダー

越しに満喫。参加者は4人でしたが、和気藹々とした大変楽しい撮影会でした。野村幸男(昭和49・商学)

卒業生の祭典・稲門祭を見学

平成卒の会

10月21日、稲門祭に、藤沢稲門会の杉下由輝と酒井盛光、茅ヶ崎稲門会・平成卒の会志村健二会長という少数精鋭でしたが、来年度の稲門祭に、藤沢・茅ヶ崎平成卒の会合同ブース出店を視野に入れながら、見学をしてみました。

神奈川県支部のブースや同級生が出店している飲食ブース等を色々回りながら、どのようなメニューが売れるかなど、来年度に向けて有意義な情報収集ができました。

また、偶然に大隈庭園で、林陽子さんと遭遇。林さんは、「平成11年第一文学部卒で、片瀬山在住すぐに、意気投合し、平成卒の会メンバーと稲門祭を見学した後、高田馬場の栄通りでの懇親会まで参加して頂き、その場で、藤沢稲



平成卒が大隈講堂前で!

グループホーム葡萄畑でクリスマス!

藤稲歌う会

藤稲歌う会の12名は、クリスマスの日には辻堂のグループホーム葡萄畑を慰問し、そこで暮らすおばあちゃんたち(おじいちゃん一人)に歌をプレゼントして喜んでいただきました。こは藤沢稲門会の会員さんが運営する施設で、毎年この時期に慰問させていただいています。穏やかな冬の日差しをあびた午後、ホールに集まったお年寄りの皆さんは好奇心と期待に目が輝いています。今年の歌は春夏秋冬の唱歌と「聖夜」などのクリスマスソングです。唱歌では「あざみの

穂 瀧

歌」が気に入っていただけた様子でした。

最後に「ジングルベル」を歌い終わると全員で「サンタさあ〜ん」と呼び掛けました。すると職員さん扮するサンタさんが大きい袋をかっついて登場しました。おお盛り上がりです。おばあちゃんたちは一人一人サンタさんからプレゼントを貰い、神妙な面持ちでした。お開きのあとおばあちゃんたちと一緒にお茶とケーキを楽しんで帰途に就きました。

松嶋交治(昭和46・理工/工経)



クリスマスに歌のプレゼント

四季の会

鎌倉七福神巡り!

11月18日(日)、秋晴れの好天のもと、四季の会(2018秋バージョン)が開催されました。

この度は、鎌倉七福神巡りと称して、北鎌倉駅を起点に市内にある七か所の寺社を江ノ電にも乗りながら回ってきました。当初の参加者は13名でしたが、当日に足立顧問も参加され日頃の運動不足の解消を図りつつ、とても嬉しいひと時を過ごしました。

今までのような企画に参加したことがなかった方が多くおられ高い評価を頂きました。その後、春バージョンで日本酒飲み放題がとても受けて着も美味であった「まつだ家」にて宴会が開かれ、鎌倉巡りには参加してい



みんな笑顔は七福神

田中雄一(昭和50・政経)

なかつた佐藤さん、永田さん、松嶋さんの3名の幹事も加わっていつも増して大変盛り上がり、アツというまの2時間でした。次回の四季の会(冬)を検討中です。

藤稲70年会

藤沢稲門会には、1970年(昭和45年)に早稲田を卒業した会員仲間が20余名おります。戦後のベビーブームの中で生まれ育ち、その圧倒的な人数から「団塊の世代」とも呼ばれた仲間たちも、古希を過ぎる年代になりました。11月13日夕、内田会長をはじめとする70年同期会のメンバー9名が集まり、秋の懇親会を開催。

メンバーの一人である武田

さんが、ご出身地、山形県の日本酒を寄贈してくれて、お酒を酌交わしながら、大学時代の想い出話や最近の趣味や生活について語り



ビールと笑顔で乾杯!

同期会を賑やかに開催

「団塊の世代」集合!

当日は、昼に有志によるゴルフ会も予定していましたが、天候の具合で、こちらは来春に延期となりました。

藤沢稲門会の中で、定期的にごうした同期仲間の会合を持つているのは、70年会のみと思われまます。たて看が立ち並び、校舎の入口にバリエードが築かれた大学の同期も、来年、卒業50周年を迎えます。これからも、この藤沢の地で、元気に、明るく、楽しく、そして、何よりも気楽に此の懇親の集いを続けていきたいと思っています。

公平仲夫(昭和45・商学)

文芸サロン

『かるた藤沢百趣』より(交通)

あした浜辺と 流れる曲が

辻堂駅の 発メロに

小田急線は 藤沢駅で

前と後ろが 入れ替わる

龍口寺前 カーブに沿って

走る江ノ電 遠慮がち

片瀬山越え 大船めがず

懸垂式の モノレール

湘南台の ツインのバスは

学生たちの 夢を乗せる

〈縁起〉 遊行寺にある 貴重な国宝

一遍さんの 絵巻物

日蓮さまの 法難偈び

団扇太鼓の 龍口寺

義経公の 御霊安かれ

白旗神社 藤薫る

かつてはあった 丑三つ詣り

義朝ゆかりの 佐波神社

日露のいくさ 勝ち導いた

児玉神社に 歌碑多く

〈河川〉 武蔵相模の 境が由来

氾濫しない 境川

境 引地の 二つの川が

鵜沼挟んで 大海へ

境川には 柏尾の川が

一緒に なって 片瀬川

ボラも遊べば カヌーも遊ぶ

犬も大好き 引地川

ここ打戻 稲穂が揺れて

小出川には 彼岸花

穂 漣

会員の隅野克子さんの書が総長室を飾る

会員の広場

隅野さんは現在早稲田大学の光輝賛助員、そして川淵三郎氏等著名人の多い評議員会推薦商議員の肩書をお持ちです。

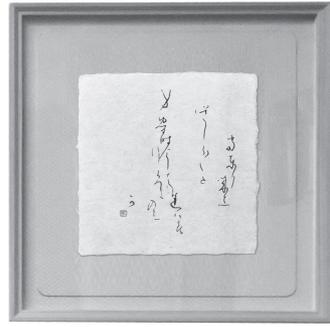
以前「隅野克子奨学資金」が大学院法務研究科に設立された時、訪問取材致しました。

今回は隅野さんの書が鎌田薫総長(当時)に贈呈され総長室を飾られていたと伺い、佐藤順子女性委員長と、江ノ島近くの海沿いのマンションをお訪ねしました。



隅野克子さん(右)と佐藤順子女性委員長

隅野さんは昭和39年に教育学部をご卒業後、教育行政に携わることを目的とし横浜市役所に勤務、その間都立大学法学部に学士入学その後退職し、資格を取得され税理士として活躍されました。65歳にて廃業し、人生の区切りとして書を始めた。今は奥が深い書に全



額装された隅野さん作品

てを捧げているとのこと。亡くなられたお母さまの勧めがあり、又かな文字にあこがれて流れるような線を表現したいとも仰っていました。

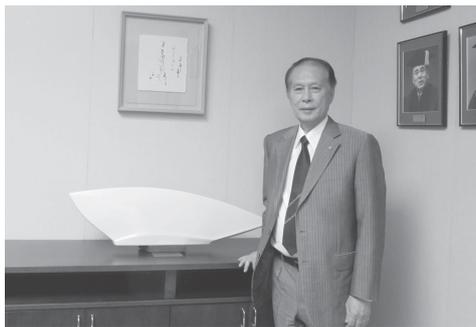
隅野さんは継続して大学に資金貢献をされています。前述の肩書授与の他に、色々と鎌田前総長にお世話になったいきさつもあり、そのお礼もあつてと大学事務局と打ち合わせの上、今年の7月の商議員会で総長に贈呈することになったそうです。隅野さんは、鎌田前総長は気さくで腰が低い人と仰っていました。

その書は明治期に早稲田の英文科を卒業し、日本最初の駅伝も起こしたと云われる土岐善麿の歌で「たどりきし 道しらじらと見ゆる時 今は迷わず行くべきのみか」と万葉かなを交えて書かれた作品で、小生には全く読めない書を説明下さいました。前総長は何かの思いがあり部屋に飾ったと推察されます。因みにこの書は今年

の藤沢稲門会作品展に出品され、それを額装したものを前総長に贈ったとのこと。

隅野さんはかなの書のみを臨書で学ばれました。源氏物語等をテーマとし一気に書き上げた書、長い巻物の書、扇面の書等数々の書も拝見しました。和服で背筋を伸ばしお答えされ又門の外に迄出て見送り下さり、感服しながら帰路につきました。

(舛岡 健記)



総長室に飾られた作品と鎌田前総長

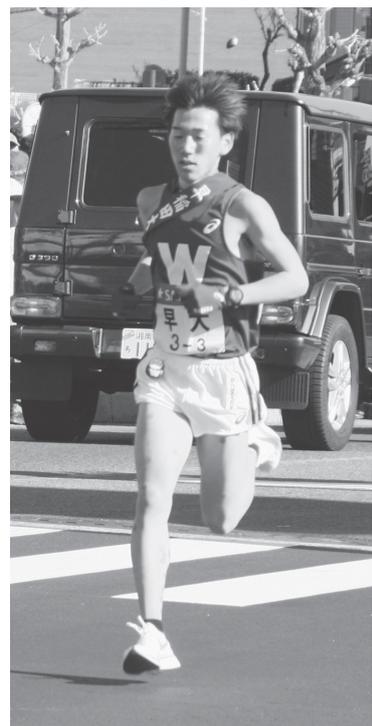
「作品展」は

8月以降の開催に

次回「作品展」は5月開催を想定していましたが、抽選に敗れたため8月以降の開催となります。

尚、現在の市民ギャラリーは5月迄で、小田急百貨店6階に移転後8月から一般利用が始まります。

目指せ来年の活躍!



3区 千明龍之佑選手

第95回箱根駅伝

今年も東会場(藤沢橋)、西会場(辻堂太平台)の2会場で藤沢を駆け抜ける選手(3区 千明龍之佑・1年、8区 太田直希・1年)に大きな声援を送った。

例年どおり近隣稲門会や三田会の皆さまが参加してくれたほか、秋田県支部からも佐野元彦幹事長ほかの校友が来場して応援に熱が入った。

しかし平成最後の王者は東海大青学大、東洋大の争いとなり東海大が新王者となったのは記録にあるとおり。

母校は来年の活躍を祈りたい。末筆ながら、昨年引き続き会場をご提供くださった神中興業様坂本眼科湘南クリニック様をはじめ、ご支援を賜った皆さまに心より感謝いたします。

(高野尚志 記)

写真 洞江 良・高野尚志



8区で集団で競り合う太田直希選手



沿道の声援を受けて競り合う選手たち

WEBアンケート実施結果

先般実施しましたWEBアンケートでいただいた藤沢稲門会活性化に向けた提言は以下の通りです。いただいたご意見を当会の活動に反映するように検討してまいります。ご協力ありがとうございました。詳しい分析は、下のURLをクリックして「前の回答を表示」をクリックして結果をご覧ください。
(組織拡大活性化委員会)

	提言の内容	人数 (率)
1	同好会の活性化 (幹事の参加、新会員への呼びかけ、穂濤クラブの復活)	11/73 (15.1%)
2	現状で十分活性化している	10/73 (13.7%)
3	会員の意見を聞く場づくり、(アンケート、意見投稿のできるサイトの設置、若い人の意見、広報を積極的に)	7/73 (9.6%)
4	行事への提言 (忘年会・新年会会時期近すぎ、安価で楽しい、応援歌を歌う、高齢者健康維持、県内稲門会との連携、著名人の校友の講演、新規参加を歓迎する雰囲気)	7/73 (9.6%)
5	現会員を大切に (地道に、高齢者が参加しやすいように)	3/73 (4.1%)
6	行事に参加しても独りぼっちの解消	2/73 (2.7%)
7	年代別催し物が必要	2/73 (2.7%)
8	地域貢献活動	2/73 (2.7%)
9	思いつかない、特になし	10/73 (13.7%)
10	その他	19/73 (26.1%)

行事予定

■定時総会・新春のつどい

日時・2月9日(土)

会場・藤沢市民会館



編集委員長
編集委員

外岡 健

葛西暢人・佐藤順子

高野尚志・中野正一

元 憲幸・山口金雄

山下扶佐子

